

新ビッグフラッグがデビュー

私たちサポーターは選手と共にここにいる！そんな想いの象徴であるビッグフラッグを、これまでホーム、アウェイに問わず掲出し続けてきました。

した。再びアジアへの挑戦権を獲得し、世界に向かって歩み出すチームと共に、私たちも更なる挑戦をしようというコンセプトの下、日産スタジアムを余すことなく活かすことのできる新しいフラッグの制作へと踏み切りました。ホーム2試合で実施した募金活動では皆様から計 697,896 円と目標金額を大きく上回る多大な募金へのご協力を頂いた結果、無事制作する事ができました。

この場を借りて御礼申し上げます。

本日、お披露目となる新しいビッグフラッグは、過去 3 代続いたハートから新しいマークに変わります。ハートはご存知の通り愛情を表現したマークですが、今回のマークは希望の象徴として西欧で大切にされてきたという説や、ホームタウンに合ったものということもあり選定されました。名称はリレー走などでも使われてる言葉で、「最後の希望と信頼をその選手に託す」という意味からきているようです。

試合当日の私たちの活動は、ビッグフラッグをスタジアム内に搬入し、掲出予定エリアに案内板を掲示するとこから始まり、試合開始 1 時間前に「勝利の鐘」の横に再集合し、そこでミーティングで人数や掲出方法の確認を行います。ビッグフラッグをセッティングすると同時に、ビッグフラッグを掲出することにより一時的ではありますかピッチが見えなくなってしまうとの周知を行います。そして、掲出した際には大きく左右に揺らすことで下に入った子供も触ってみたい、一緒に振ってみたいとはしゃいでたりする姿や、一見さんのか複数枚のビッグフラッグが上がると突然の出来事に驚くと同時にスマホやデジカメで写真を撮る姿も見掛けたりと、今や日産スタジアムにおける名物の一つになっています。

そうやって、スタンドのファン・観客にもインパクトを与え、その場の雰囲気を盛り上げることにより、フラッグを通して選手に今日は勝つぞ！ と気持ちを伝えています。

また、試合後は楽しく皆で片付けをします。専用のケースにしまっためには綺麗に折り畳まないといけませんが、例えば風の強い日はフラッグが煽られてしまうので空気が入らないように皆で押さえつけ抜けるのを待ってから作業したりと工夫しながら行っています。

興味を持たれた方は、参加できる時間帯だけでも参加してみませんか？ hamatra SNS 内ビッグフラッグ運営部コミュニティ、もしくは Twitter (@yfm_bigflag) 宛に参加表明をしてください。または試合当日、集合場所に直接来てもらっても OK です。

圧倒的な存在感を放つビッグフラッグを掲出することで、勝利に向けてミンナのキモチをひとつにしましょう！ (ビッグフラッグ隊 まあ)

NEXT HOMEGAME

J-LEAGUE DIVISION 1	天皇杯 3回戦	ヤマザキナビスコ杯 準々決勝第1回戦
8/23 (土) 19:00	8/20 (水) 19:00	9/3 (水) 原稿締切時点では時間未定
vs 川崎フロンターレ	vs ギラヴァンツ北九州	vs 柏レイソル
ニッパツ三ツ沢球技場	ニッパツ三ツ沢球技場	ニッパツ三ツ沢球技場

アウェイチケット購入は **チケットオンライン** で！
アウェイゲームのチケットは、手軽に購入できるコンビニで入手している人が多いと思います。しかし「チケットオンライン」で購入すれば販売手数料の一部がF・マリノスにも還元されます！

発売中
vs ベガルタ仙台
8月30日(土) 19:00 キックオフ

チケット
アウェイチケットによる購入方法
1 ホーム試合会場で ホームゲーム、特設ブースでの販売。
2 ウェブサイトから <http://ticket.yfm.jp/piajp/sp/away/marinops.jsp>
※クレジットカード決済。配送がコンビニ発券。

リレーコラム 第4回 MY FIRST GAME

1995年 4月12日 サントリーシリーズ第8節
横浜マリノス 2 (延長) 3 浦和レッズ
@ 国立競技場

当時は 2nd ステージ制であり、その 1st ステージに当たるサントリーシリーズをマリノスはスタートダッシュに成功していて、6 勝 1 敗で迎えた浦和レッズ戦でした。マリノス調子良いし国立競技場だし観戦しに行ってみるかという軽いノリで初めてスタジアムへ行ったのがこの試合になります。

ユニフォームやマフラー、旗などといった応援アイテムなものは何にも持っていないおらず、バックスタンド S 席での観戦でした。

ユニフォームと言えば当時、背番号は今のように固定されておらず、どの数がどのポジションを表すかといったルールにより試合毎に与えられていたため例えれば今日の 10 番は山田隆裕だったけど、次節は三浦文丈が 10 番だったりと違っていました。スタメンの選手は 1 ~ 11 番を、サブの選手は 12 ~ 16 番のユニフォームを着用すると決まっていたのです。

試合のほうは、開始直後に先制されましたが前半終了間際に鈴木正治のゴールで追いつき、後半ラモン・ディアスのゴールで一時は逆転するもすぐに追いつかれてしまい、90 分では決着がつかなかったので延長戦へとなりました。そんな中、延長前半 10 分前後だったと思いますが井原正巳がこの日 2 枚目のカードをもらって退場し、その後に失点したため、V ゴール負け…という流れでした。ちなみにラモン・ディアスのマリノスでのゴールは、この日が最後になります。

負け試合ではありましたが、初めてスタジアムで観たマリノスの試合は純粋に楽しかったと記憶しています。

その試合を皮切りに、徐々にスタジアムへ行く回数は増えていき、アウェイの試合へも足を運ぶようになり、何時からか旗を振って応援するようになり、長い年月が経ちました。スタジアムへ行って、応援したり観戦できるのは、本当に楽しくて幸せな事だと実感しています。

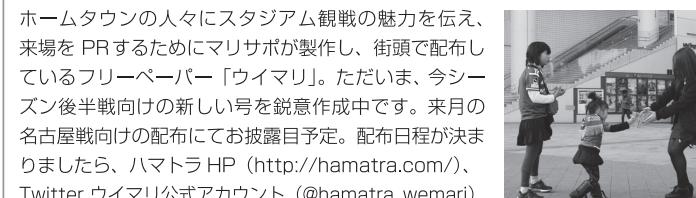
これからも、まだまだスタジアムで応援し続けたいと思います。
(たかゆう)



日産スタジアムを満員に

ウイマリ配布

ホームタウンの人々にスタジアム観戦の魅力を伝え、来場を PR するためにマリサポが製作し、街頭で配布しているフリー・ペーパー「ウイマリ」。ただいま、今シーズン後半戦向けの新しい号を鋭意作成中です。来月の名古屋戦向けの配布にてお披露目予定。配布日程が決まりましたら、hamatra HP (<http://hamatra.com/>)、Twitter ウイマリ公式アカウント (@hamatra_wemari)、hamatra SNS 内でお知らせします。マリノスを応援する方なら誰でも参加 OK ! ぜひ一緒に街行く人にマリノスの試合をアピールしましょう！



マリノス・日本代表 Nゲージ・電車でGO・映像・グッズ
鉄道とサッカーの居酒屋 新横浜機関区

横浜市中区吉田町10 斎藤ビル5階(吉田町交番となり)
交通: JR京浜東北/根岸線 関内駅徒歩2分
横浜市営地下鉄 関内駅徒歩1分
<http://shinyokohama-kikanku.net>

スタジアムを熱くする F・マリノス・サポーターのためのフリー・ペーパー "hamatra"

Vol. 111 2014/08/09

2014.7.31

この日をもってアントニオ・モンティロ・ドゥトラは現役を引退し、「これからは1人のサポーター」と宣言した。

彼が残してくれたものは何か。

それは、全力で臨むことだと思う。試合にしろ、練習にしろ、手を抜かずに続ける。40歳まで高いパフォーマンス(本人は納得いかない出来だしが)を維持できたのは、日々の積み重ねの賜物だろう。

そんな全身全霊で魅せ続けてくれたドゥトラを、勝って気持ち良く送り出すことができなかったのが悔やまれる。

それどころか、順位に目を向ければクラブもサポーターも誰1人として満足できる現状ではない。

しかし、我々にはどうしても戻らなければならない場があるため、ここから巻き返すしかない。そのためには、1人1人が今の自分にできることを全力で取り組むことが不可欠ではないだろうか。いつもより手拍子や声を大きく出してみると、とか、ちょっと跳ねて躍動感を出してみると、とか。

マリノスの勝利のために。

ACL の舞台に再び挑むために。

そして、地球の反対側にいるマリノスサポーター・ドゥトラに躍進の報を送り届けるために。

(野上)

Cover Photo: 紗季 on November 30, 2013 at NISSAN Stadium.

hamatra.com

Hamatra News

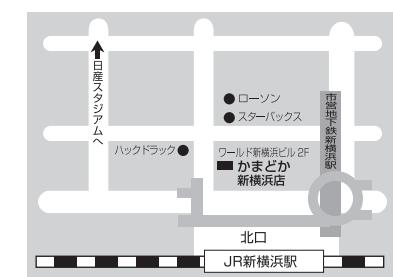
■ポスター協力店紹介【試合当日に限り、本紙ハマトラ提示でサービスあり！】

～試合の後は新横浜(ホーム)で盛り上がりろう～

◆居酒屋 かまだか 新横浜店

ハマトラ提示で
お会計より
10%OFF

新横浜 2-4-4 ワールド新横浜ビル 2F
☎045-477-1194
試合当日の営業時間：17:00 ~ 5:00



■ハマトラースだより

ハマトラースで行っているエコキャップ回収活動についてお知らせです。ブースで皆さんからお預かりしたキャップは、クラブを通じて NPO 法人エコキャップ推進協会に送付されています。キャップ回収によって発展途上国の子どもたちにワクチンを贈る活動です。できるだけ汚れが目立つものを除き、シリアルを剥がしての持参にご理解とご協力をよろしくお願いします。



また、アパレルグッズ販売（一部セール品あり）や缶バッジ作成コーナー（小学生以下1日1回無料、中学生以上100円／展示販売有）、フリー・ペーパー・ハマトラ最新号・バックナンバーの配布を行なっています。東ゲート広場トリコロールランド内のハマトラースまで遊びに来てください！ (つばさ) ※雨天時は2階リング通路の「雨の日ラン」になります。

hamatra NPO法人 ハマトラ・横浜フットボールネットワーク <http://hamatra.com/>

△ハマトラは、NPO法人 ハマトラ・横浜フットボールネットワークが制作・発行・配付しているフリー・ペーパーです。△ハマトラに関するお問い合わせは、NPO法人 ハマトラ・横浜フットボールネットワーク(info@hamatra.com)まで。

編集後記：例えば就職や転勤を機にスタジアムから足が遠のいたり、9年もの時間があれば自分の周りの顔ぶれは変わってしまうし、それはピッチ上の選手にも言えることで既存の選手が9年後もいる保証はない。どれだけの時間が掛かるかクラブと共にまた ACL を戦うことはできるが、僕は共に悔しい想いをした今いる選手と周りにいる仲間と ACL を戦いたい。その為にはもう9年なんて待てられない。(遠藤)

hamatra:SNS

■hamatra SNS に入ろう！

hamatra SNS(<http://hamatra.net>)は、横浜 F・マリノスサポーターのための、情報交換コミュニティサイト。なんと 3000 人以上も利用中。hamatra SNS に入るとこんなうれしいことが！

1. サポーター同士の交流が可能！ → hamatraSNS で日記を書くとサポーターみんなが見てくれるよ。
2. サポーターの知り合いが増える！ → 日記やコミュニティで交流が増えると、自ずとサポーターの知り合いが増えるよ。
3. サポーター間でしか話せないようなことが話せる！ → 自主制作Tシャツやサポート活動の告知等も hamatra SNS で行われているよ。

【hamatra SNS の入り方】

- その1：すでに hamatra SNS を利用している人に招待してもらう。
- その2：welcome@hamatra.com に参加希望のメールを送る。
- ※スマートフォンの方は、携帯会社のメアドではなく、gmail 等の PC 用のメアドで参加希望を出してください。
- ※管理人自身による確認・招待作業に数日かかる場合があります。ぜひ hamatra SNS にご参加ください！！ お待ちしています。

twitter @hamatraofficial

NPO 法人ハマトラでは、公式 Twitter アカウントで情報を発信しています。ハマトラースでの新商品案内や、ハマトラペーパーの配布告知など、最新の情報をおリアルタイムにお届けします。みなさんフォローしてくださいね。

■サポーター活動ツイッター

サポーター活動各エリアのツイッターアカウントができました！ ポスター活動の日程や様子、地域のトリコロールな情報をお届けします。

- | | |
|------------------------------|-----------------------|
| 神奈川区・鶴見区
@hamatra_kng_trm | 旭区
@hamatra_asah |
| 中区・西区
@hamatra_nak_nsi | 磯子区
@hamatra_isog |
| 南区
@hamatra_minam | 金沢区
@hamatra_kanaz |
| 港南区
@hamatra_knan | 港北区
@hamatra_khk |
| 保土ヶ谷区
@hamatra_hodg | 緑区
@hamatra_midori |

2014年 ACL

ホームのみ参戦

周りの人には口を揃えて言われた、「大学生のうちにACL行けるなんて羨ましい」と。もちろん行きたかったし現地に行った人しかチームの力にはなれない。そんなことは分かっているが、今年のACLではそのことを特に強く感じさせられた。

テレビの画面を通じて敗退を目の当たりにしたからだろうか。行けなかった理由は簡単だ。今よりもこの先のことを大事にしたく学業や就職活動を疎かにし、例えは借金をしてまでとなると行く気にはなれず、行った後のリスクを恐れてしまった。

現地に行けない自分ができることは、そんなに多くないかもしれないが、せめての想いからどんな時も気持ちを切らさずにテレビ観戦した。それしかできないというこ

アウェイ 全北現代

「アウェイのACL」という、この響きを聞いて、僕は少し身構えてしまう。普段一緒に応援している人達からしさりに「アウェイはヤバいぞ」「幕盗られてテントにされた」「水は持ち込めないぞ」と言っていたし、他のチームがACL出場する度、毎年何かしらのトラブルが起きていたというのもある。

しかし、いざ韓国に行ってみると、いわゆるアウェイの洗礼と言われるような対応は受けず、幕のチェックは政治的な内容がないで通過できたし、幕のデザインを見た係員に「good!」と言われるほど和やかさ。

それに水も持込めたし、スタンドのアウェイエリアも広々開放的だった。さすが

久しく行けなかったアジアの舞台へと帰ってくることはできたが、いざ戦ってみると2勝1分3敗という結果に終わり、出場したJリーグ勢4チームの中では唯一のグループリーグ敗退となってしまった。

普段のJリーグではなかなか味わえない経験を積むことができ、貴重な体験だったわけだが、今回改めてACLとは一体どういうものだったかを振り返ることで今後の糧にしたいと思う。

とはもどかしく、だけど何もできていないからこそ、自分はせめて選手、サポーターを信じようという気持ちが強かった。

もっとできたはずだし悔しい。単純に思う。何かが足りなかっせいで敗退したのか分からぬ。分かったのはアジアを戦い抜くのは難しいということだけ。圧倒的に強く、敵わない、と思わせるクラブはなかった。

学んだことと言えば、色々人と話したり応援することを通じて、9年前の敗退で悔しい想いをしたサポーターが今回どれだけACLに懸けていたのかということだ。

そこにあるマリノスへの愛着やサポーターとしてのプライドを垣間見ることがで



き、勉強になったと思う。

僕に足りなかったのは現地に行く勇気だったのかもしれない。

今回のACLはとても悔しい想いをしたし、就職活動などの影響から試合に行く機会は減っているが、だからこそ行ける試合は常に全力で応援して、来年のACLでは同じ想いをしないようにしたい。（ゆうせい）

に緩衝地帯の脇にはすらりと警備員が並んでいるものの、こちらに圧力をかけてくる様子はゼロで、「あれ？ こんなもんの？」と驚くというか、拍子抜けてしまった。

思い返してみれば、空港からホテルまでの送迎バスの添乗員も「サッカーの応援で来たの？ 私は韓国のチームを応援するけど貴方達も頑張ってね！」と言ってくれてとてもフレンドリーだった。



昨シーズンの前半なんてアウェイの試合はほとんどスカパーだったしその時はまさか自分がたった90分のために隣の国とはいえ海外にまで行くなんて思ってもみませんでしたが人生初めての海外で沢山の経験をするきっかけを作ってくれたマリノスには本当に感謝しています。（よしと）

アウェイ メルボルンヴィクトリー

グループリーグを1分1敗で迎えた第3節。勝たないと苦しい状況であったし、マリノスとしては徳島戦からメンバーを大幅に変えて臨んだ1戦であり、どのような戦い方をするのかと思っていました。試合としては主導権を握り、チャンスも作れ、選手達もよく走っていたと思うが、それだけで勝てるものでもないのも事実です。

試合中も勝てない相手だと全然思いませんでしたが、最後まで得点は奪えず結果的には相手の戦い方が嵌って負けたようにも思いました。

結果論になってしまふかもしれません。メルボルンは勝負に徹していたのかなど感じたし、とにかく勝つイメージを強く持つて臨んだ試合でしたので、試合後の悔しさ

と脱力感はかなり大きかったと言う記憶だけが残っています。

結果を出せなかっただのでこう言い方をしたらおかしいかもしれません。個人的にはサポートーもチームも出し切れた、ただ、その力が足りなかつたのではないかと思います。

勝たないといけない状況で無得点での敗戦。内容は少しの差であったかもしれないけど結果は大きな差として現れる。これがACLの厳しさでもあると感じましたし、その厳しい戦いを勝ち抜くための力が足りなかつたのではないかでしょうか。

試合に対するスタンスや楽しみ方は人それぞれだと思いますが、もっと勝負に拘り



を持ち、何としてもこの試合だけはという気持ちや感情、そういう雰囲気や環境を創るということも時に必要で、今は制限が多くなっていますが、もっとそれぞれが感情を出していいとも良いと思います。

ピッチにだけ求めるのではなく、ファン・サポートーも一緒になって共に強くなっていく必要があります。そうやって1つ1つの積み重ねがACLやその先を勝ち取る礎になるのではないでしょうか。（たけすべ）



の場所まで行って、チケットを受け取った後、貸切のバスに乗り込み、そこからマリノスサポートーとして揃って行かないと、入場することができなかつたのです。

その理由は「中国公安当局の要請により」とのこと。そうです。私が求めていたのはこののようなアウェイ感であり、この状況の中でも勝ちたかった。（こあだんぶ）

アウェイ 広州恒大

今シーズンのACLの中で、アウェイ広州の試合を私は最も楽しみにしていました。最もアウェイというものを感じる試合になるであろうし、その他、様々な点で最も面白い経験が得られるだろうという理由です。それに過去、最もアウェイ感が大きかったといわれる2005年に出場したACLのアウェイ山東戦に私は行っていないからなのかもしれません。

これはやはり中国アウェイは経験しておかないとという気持ち。試合中、何かのアクシデントがあったとしても…。

もちろん実害があっては困りますが、今回の遠征では、それはそれで、目的の1つだったりしたのです。

広州までの行き方は、香港からの陸路での国境越えのルートにしました。そうすると、普通は香港九龍中国広州直通電車を選ぶ人が多いと思いますが、香港国際空港→(BUS)→上水→(MTR)→羅湖→(国境を徒歩)→深セン→(広深鉄道)→広州東のルートにする事で地元の人がよく使うであろうというのと、列車の本数が多く何らかのトラブルが起きたとしてもその後にとれる選択肢の幅が多そうだったのでです。

ただ、計画中にドタバタしたことがあります。個人レベルで手配し好きなルートで中国入りすることはできても、直前にクラブから発表があったように個々でスタジアムへ移動し入場することはできません。

一旦、スタジアムからは遠く離れた指定



代、広州恒大はもちろんだが、メルボルンヴィクトリーもマリノスが8年出れなかつた間に3回出場している。

広州恒大のアウェイゲームでは、今までに感じた事のないアウェイを感じ、平日なのに4万人が真っ赤に染まり、得点が入ると地鳴りのような歓声がいつまでも続き絶望感さえ覚えるほどだった。

9年前の山東魯能戦は反日運動中だった為、公安が2万人いるなど異様なムードの中で行われ、理不尽な規制や不可思議な判定など国家に敗れたような感じで、やりきれない思いがあった。しかしこの試合ではそういうのではなく、ACLを勝ち抜くというチームの力で負けた。

もう敗退を繰り返したくない。

ACL優勝を目指しているチームが沢山あるし、そういう中でアジアを勝ち取る為にはサポーターももっと意識を高くしていかないと厳しい。ホームで2勝1分とはいえ、約7000人のスタンドで相手に脅威を与え

られたのだろうか？ 結果に満足してはいけない。もっと力になれる。

今年のACL出場が決まった時、本当に嬉しかった。またアジアの場で戦えるのだと思うと、ずっと気持ちが高まっていた。

9年前に山東に行った人、行けなくて悔しい思いをした人、その後マリノスを好きになってACLに出たかった人、色々な想いがあったACLだったが、9年という時は長すぎた。ACLは毎年出て優勝を目指して戦わないと、アジアを勝ち取る事はできないと痛感した。

なので今年リーグ優勝して、来年また戦いたい。（デンチュー）